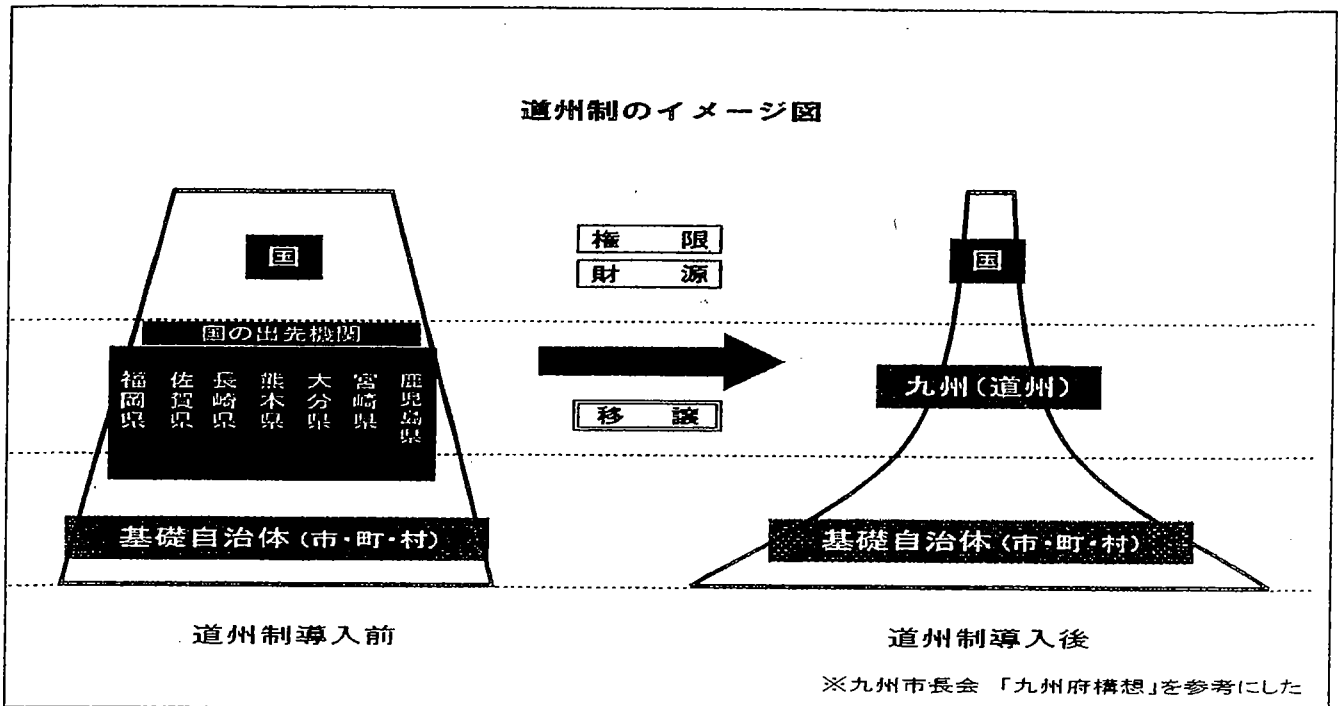


九州地域戦略会議 道州制検討委員会
「道州制に関する答申」(H18.10.24) の概要

論 点	答 申
1. 道州制の必要性	<p>・地方のことは地方が決める地方分権社会の実現 地方のことは地方が決めるシステムを構築し、中央集権によって閉塞状況にある地方を再生して個性豊かで活力のある地域社会を形成するためには道州制が必要</p> <p>・道州制を目指す6つの理由</p> <ol style="list-style-type: none"> ①九州を活性化し住民の暮らしを豊かにする ②中央集権システムを改革する ③市町村制度と都道府県制度を改革する ④国と県の二重行政を解消する ⑤国と地方の危機的な財政状況を改善する ⑥九州が一体となり東アジアの拠点として繁栄する
2. 九州の目指す姿	<p>・九州を活性化し、暮らしを豊かにする7つのビジョン</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生 活 安全安心で豊かな暮らしのできる九州 ②経 済 産業の域内循環を高め一体的に発展する九州 ③国 際 東アジアの拠点として繁栄する自立経済圏九州 ④社会資本 効率的な社会資本整備により豊かで競争力のある九州 ⑤人 材 優秀な人材と国際人が育つ九州 ⑥環 境 自然と人・産業が生き生きと共存する緑豊かな九州 ⑦行 政 透明性の高い民主的で効率的な行政を行う九州 <p>・7つのビジョンを実現するための3つの制度の構築</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地方分権を推進し「九州のことは九州が決める」制度の構築 ②東アジアの拠点として繁栄する九州実現のための制度の構築 ③国と地方を通じた効率的な行財政制度の構築 <p>・国、道州、市町村の役割分担</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市町村…住民生活に密接に関わる行政サービスを総合的に担う ②道州……市町村では対処できない広域的な役割を担う ③国……主として国家の存立に関わる役割を担う
3. いかにして道州制を実現するか	<p>・道州制導入に向けた3つの仕組みづくり</p> <ol style="list-style-type: none"> ①国、道州、市町村の役割分担の明確化 ②地方の自主財源確保の仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・税源移譲や国税と地方税の税目、課税権のあり方も含めた税制の抜本的見直しを行い、地方税を中心に自主財源を確保 ・税源偏在に対しては、地方共有税のような新たな財源調整の仕組みを検討 ③市町村の行政能力強化のため市町村合併を強力に推進 <p>・国民的議論を喚起するための3つの方策</p> <ol style="list-style-type: none"> ①国民の道州制に対する関心を高める ②全国ブロックで道州制議論を活発化し、世論を喚起する ③国会議員など政治家や政府へ働きかける <p>・道州制推進組織の設置……九州の活動拠点</p>

参考 九州における道州制のイメージ



* 道州制導入後の市町村、道州、国の組織・人員はそれぞれの役割に応じて重点化、スリム化する

市町村…基礎自治体として住民生活に密接に関わる行政サービスを総合的に担う
 道州……広域自治体として、市町村では対処できない広域的な役割を担う
 国……道州では対処できない、主として国家の存立に関わる役割を担う

九州の議会・執行機関のイメージ

